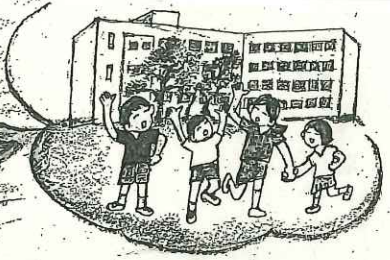


# むっすら



# 7月

## つながるなかま まちいきいき 六浦っ子

6月15日(月) 全員そろっての登校開始日の休み時間の校庭の様子です。全員マスクをしていましたがマスクは外して表情を描きました。みんな歓声を上げながら遊んでいました。満開のヒマワリも嬉しそうでした。



## いきいき 六浦っ子

副校長 星 純一

雨雲のわずかな晴れ間にも、子どもたちは校庭に出て休み時間を楽しんでいます。梅雨明けまでにはもうしばらくかかりそうですが、紫陽花からひまわりへ、季節は確実に夏に突入です。

感染拡大防止策の一つとして、今学校では、窓という窓を開け放しているのですが、そのせいか、毎日いろいろな生き物が飛び込んできます。蜂が飛び込んでくると、教室はパニック状態。その度に大きな虫取り網を持った校長が出動します。素敵な色の羽をもったアゲハ蝶には歓声、捕まえた子どもたちと本当は逃げてほしい教師の思いは微妙に交錯し、幸い脱出が成功した時の子どもたちの残念そうな顔と教師のほっとした顔は見事に対照的です。先日は、職員室にトンボが入り込み、逃がそうとして羽をつまんだ私は、指を噛まれてしまいました。トンボのあごは強力でとても痛かったのですが、虫を追いかけた幼い頃の夏の日を思い出してしまいました。

このところ、学校でいろいろな生き物を目にします。本格的な夏が近づいていることはもちろんなのですが、多くのボランティアさんのお手伝いにより咲き誇る花々や整備された学年の畑。そして、見守り隊の方々により清掃、修理していただいた池に、久しぶりに流れが戻ってきたことも、大きく関係しているのではないかと思います。多くの方々に支えられながら、夏に向けて元気になっていく生き物たちに励まされて、六浦小学校の子どもたちがますます元気になっていくとよいなと思います。

子どもたちのがんばりと保護者の皆様、地域の皆様の温かなご支援により、本校は確実に段階的な教育活動の再開の道を歩んでいます。7月からは第三期。給食が始まります。今後とも、ご協力よろしくお願ひいたします。